

第3号様式

令和6年度第4回船橋市市民活動サポートセンター運営協議会 会議録

(令和7年4月25日作成)

- 1 開催日 令和7年3月27日(木)13時30分～15時30分
- 2 開催場所 市役所9階 第1会議室
- 3 出席者 (委員) 齊藤委員、谷合委員、柿崎委員、南山委員、
齋木委員、廣田委員、森委員、田久保委員
(関係機関) 船橋市ボランティアセンター 八東氏
(事務局) 松丸市民協働課長、石毛市民協働課長補佐
矢田市民協働係長、富沢主事、小山主事
- 4 欠席者 川島委員
- 5 議題及び公開・非公開の別並びに非公開の場合にあっては、その理由
 - (1) 各部会の報告
 - ① 組織活性化部会
 - ② 活動促進部会
 - (2) 事務局報告 ※全て公開
- 6 傍聴者数 0名
- 7 決定事項 ※【 】は発言者
 - (1)組織活性化部会
 - ①説明
資料1に沿って、活動内容を報告【齊藤委員】
資料3に沿って、まつど市民活動サポートセンター視察について【齊藤委員】

資料2に沿って、市民活動サポートセンター改善検討案について【齊藤委員】

②質問と回答

意見:改善を進めていく上では、市民にとって市民活動サポートセンターを利用することにどんな魅力があるか、市民活動サポートセンターが何を指しているのかなど市民目線も意識した上で、進めていくことが重要だと感じる。【南山委員】

質問:説明された内容は非常に素晴らしい。実現するとした場合に、委員の任期である2年間で具体的に実現する方法はありますか。【柿崎委員】

回答:運営協議会だけで実現するのは難しい。市民のためにサポートセンターがあるので、必要な機能や目指す方向性を運営協議会として、市に提案して、市が実施するのをサポートする役割だと思っている。【齊藤委員】

質問:これまでも運営協議会が実行してほしいという話が過去出てきたことがあるが、運営協議会が実行する方向性で考えるか。【柿崎委員】

回答:最終的には、市がどのように考えるか、市の方向性に従う。他市の視察を踏まえ改善提案書を作成し、市に提案する予定である。【齊藤委員】

質問:運営協議会としては、改善提案書を市に提出することで一旦は終了になるのか。【柿崎委員】

回答:そのとおり。市の検討結果を踏まえ、市民活動サポートセンターがあるべき姿に向けて検討を進める。【齊藤委員】

質問:現時点での提案や改善点を次に進めていく際に、具体的にもう少し掘り下げてご議論いただいた方がいいと思う。【廣田委員】

回答:昨年6月から検討した結果、4月からコーディネーターを設置することになり、一歩前進したと考えている。【齊藤委員】

意見:サポートセンターの改善については、時間がかかるかもしれないが、継続して言い続け、全員が同じ意識をもって、同じ方向に向かうことが必要だと考える。【斎木委員】

意見:ずっとやって欲しかったことが1つあって、サポートセンターの受付が隠れていて話しかけづらい雰囲気があるので、受付を横側ではなく、正面に設置してもらいたい。【南山委員】

質問:サポートセンターの改善について、事務局はどのように考えているが、可能な範囲でお答えいただきたい。【谷合委員】

回答:中間支援機能の強化というところは、センター立ち上げの頃から言われていましたが、ハード機能を中心に進めてきているというのが実態だった。そこを何とかしたいと思っていて、どこから始めたら良いか手探りでしたが、皆様のお力をお借りしながら事業を進めてきた。その中で、サポートセンターとしてどう変わったかを考えたときに、根本のところは何も変わっていなかったなので、相談機能の強化、すなわちコーディネーターの設置に向けて動いてきた。市民活動は気持ちの部分が必要な世界だと思っており、情熱がないと広まっていけないし、同じ方向を向かないと萎んでいってしまう部分もあると思うので、今後もサポートセンターの改善に向けて、着実に進めていきたいという気持ちを持っている。【事務局】

(2)活動促進部会

①説明

資料4、5に沿って、活動内容を報告、今後の活動予定を共有【谷合委員】

資料6に沿って、コラージュワークショップ アンケート結果共有【事務局】

資料7、8に沿って、はじめの一步ワークショップ企画について説明【南山委員】

資料9、10に沿って、サポートセンターだよりしみんりよくについて【事務局】

資料11に沿って、市民活動写真展について【事務局】

②質問と回答

質問:常設パネル展について、毎年、同じ団体から申し込みがくるということは、やりなれていて、効果検証できているから継続的に関わってもらえていることだと感じる。例えば、募集要項に写真2枚で団体のPRができますというキャッチコピーを掲載することや、提出方法に郵送も追加してもらうとより多くの団体にご参加いただけると思う。【森委員】

回答:写真の郵送については、送っていただいた写真をこちらで印刷する予定なので、原則は、データでの提出を想定している。例えば郵送でも適したサイズで提出いただければ柔軟な対応が可能である。募集要項については、今後、わかりやすいものにするため参考にする。【事務局】

質問:例えば、写真展を見た方が、「この写真生き生きとして良いな」と思ったときに、気に入った写真に投票できる仕組みがあると、付加価値をつけることができ、今後の申込みに繋がり、団体活動の活性化も期待できるのではないか。【田久保委員】

回答:活動促進部会でも検討していきますが、いいねシールみたいなものを張り、投票できる仕組みも取り入れられたらと思う。【谷合委員】

質問:市民活動写真展について、コラージュや編集、加工をしたものでも問題はないか。また、顔出しなどのプライバシーについて、写真を提供する団体で許可取りをしてもらう注意書きを記載した方がいいのではないか。写真に関するコメントを自由に記載できる方がいいのではないか。【柿崎委員】

回答:写真の編集加工については、活動促進部会で、検討を進めていく。顔出しなどのプライバシーに関する記載は、必要だと思うので、追記する。団

体PRは、コメントでも良い写真の説明もあり、PRも記載できるように想定している。【事務局】

意見:以前に実施したウィッシュツリーの時のように、コメントボードを置いておいて、写真に関するコメントをできる仕組みがあると団体の方へのフィードバックにもなると思うので、リアクションできる仕組みが取り入れられたらいいなと感じた。【南山委員】

意見:一番いいねが多かった団体に、サポセン賞みたいなのので表彰をすると今後の発展にもつながると思う。【田久保委員】

回答:参加者が体験できることは、周知という面でも、非常に大きいことであり、コメント一つでもいいので、参加者が何かを残せる仕組みをよし悪しも含めて部会で検討していく。【谷合委員】

質問:参加してくれた方には、参加するきっかけになり効果があると思うが、実際には来なかった方へのアピールや周知をしていければ、次につながっていくと感じた。【田久保委員】

回答:そこは、運営協議会のXやしみんりよく(広報誌)を活用し、周知をしていく。【谷合委員】

意見:資料6の7ページ、問6「センターにあったら良いものについて」で、参加者の方のご意見で「自由に出入りできると良い」や「飲食ができれば良い」という意見は、大きなテーマとして組織活性化部会で議論を進めている。利用者である方から出てきた意見ということは、とても大きな反応であり、重く受け止めていくべきだと感じた。【田久保委員】

8 その他

次回は令和7年6月26日(木)13時30分から、市役所本庁舎10階中会議室にて

開催予定。

9 問い合わせ先

市民生活部 市民協働課 電話番号:047-436-3201